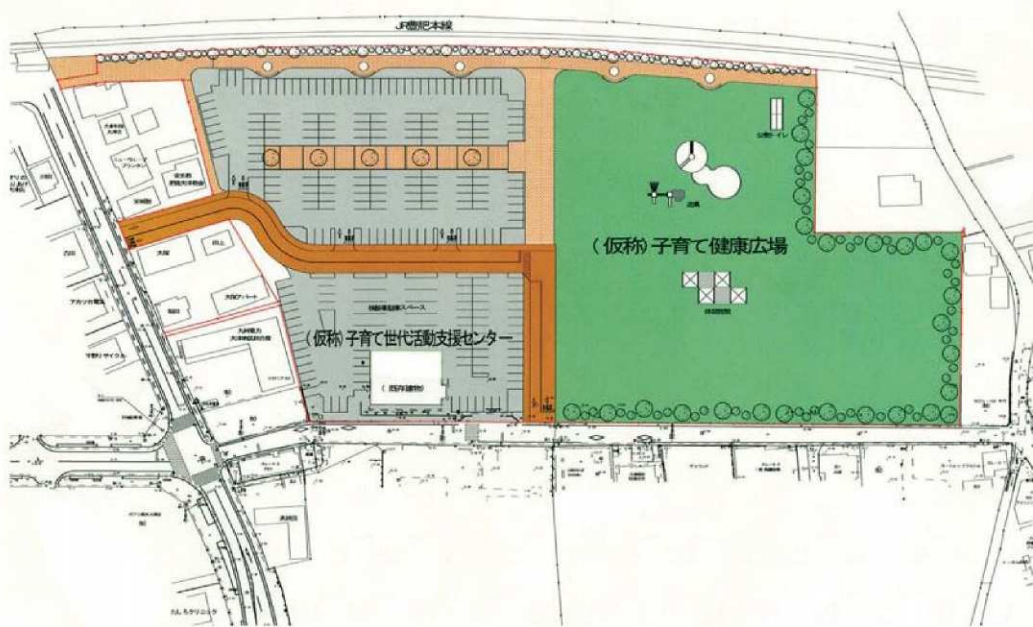


アルコール工場跡地を購入



9月
定例会

9月定例会を10日から22日までの13日間の会期で開きました。今議会は、20年度補正予算・条例制定・改正の審議、陳情・請願の審査、19年度各会計決算の認定を行いました。各委員会では現地調査も行い、全員賛成、一部を多数賛成で可決認定しました。陳情、請願の審査結果は報告書のとおりです。人事同意で、教育委員の井野美幸さんの再任を同意可決しました。議員発議で議定会定数削減を可決しました。一般質問は、9議員が行いました。

アルコール工場跡地等の 購入予算13億4千万円を可決

法人町民税減額 外国税額控除の影響

一般会計補正予算は、規模では15億6000万円の増加で122億6700万円となり積極予算となっています。増加の要因はアルコール工場跡地購入費約13億円が主なものです。

一方歳入では、法人町民税が7億1800万円の大きな減額となりました。原因は自動車関連企業の外国税額控除によるもので、大企業が納める全体の税額が減ったことや、連結納税制度などのため、外国税額控除分を、国税だけでなく地方町民税からも差し引くように

なりました。なお、企業の決算申告との関係で単年度実質の影響分は4億6000万円程度と推計されます。

アルコール工場 跡地購入

一般会計歳出でアルコール工場跡地と事務所建物を購入する予算13億

3685万円が提案されました。

民間企業も含めて売却処分が進められる中、中心市街地のまとまった土地として町への売却が内定したものです。当面は事務所建物を改装して「子育て支援や検診センター」とし、その他の土地は広場として整備する計画です。

議員定数を2減 次回から定数16人に

議員発議として「議会議員定数を2減、次の選挙から定数16人とする」議案が提出され、賛成11人、反対4人の賛成多数で可決しました。(詳しくは19ページ)

税収額 62億円

借金 99億円

貯金 59億円

大津町の財政状況の推移 (決算額、単位万円)

	13年度	14年度	15年度	16年度
町税収額	376,595	429,782	461,923	508,274
地方債残高	1,027,140	1,029,211	1,057,638	1,066,734
基金積立金	300,771	359,695	380,340	420,135
	17年度	18年度	19年度	
町税収額	505,239	560,395	625,884	
地方債残高	1,051,961	1,022,725	989,115	
基金積立金	454,828	534,464	587,960	

19年度決算

税収62億円はピークか

19年度各会計決算の認定審査を、各常任委員会で現地調査も行って審議しました。

19年度一般会計で、町税収は初めて60億円台を突破し62億5884万円となり町財政は順調に拡大してきました。ただし、20年度には法人町民税の税収が若干減少し、景気の動向によってさらに影響が予想され、町税収は

ピークを記録した状況です。

それでも、基金(貯金)の積立金が58億7960万円ありますので当面の財政運営に心配はありません。

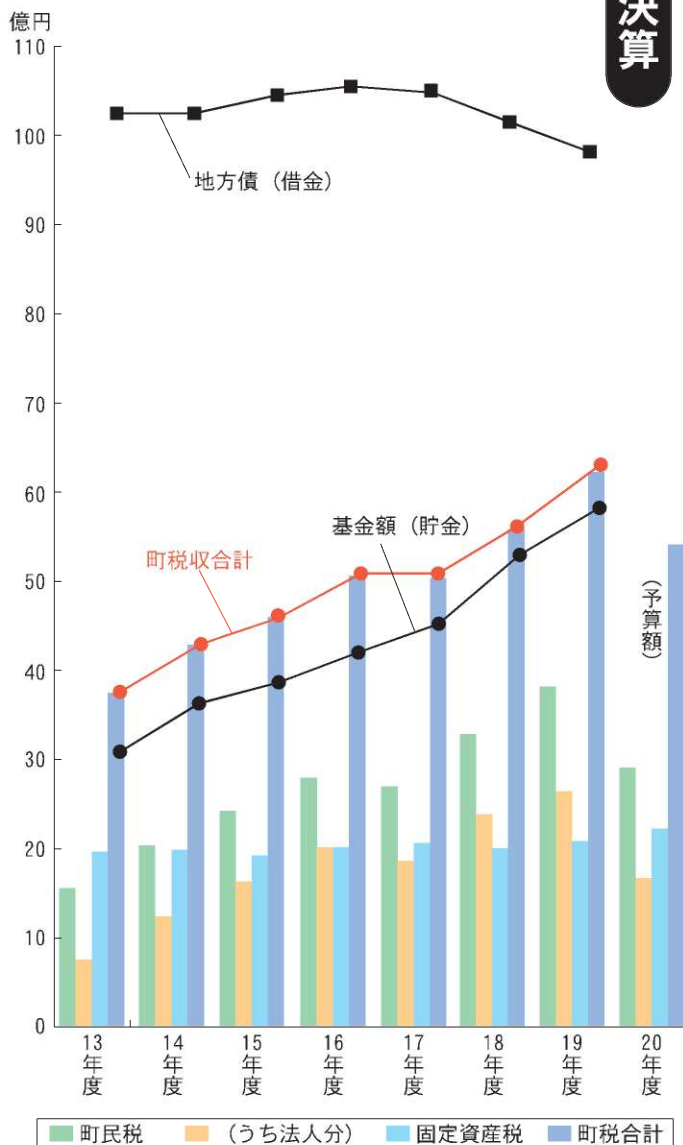
一方、借金にあたる地方債残高は百億円を下回り98億9115万円です。前年度に続き3億円あまり減少しました。

その他、国民健康保険

や下水道など特別会計を審査し、全議案を認定することを可決しました。

「決算審査の意義」

- ① 予算が適正に執行されたか。
- ② 各種資料に基づいて、その行政効果や経済効果を測定し、住民に代わって評価する。
- ③ 審査の結果を後年度の予算編成や行政執行に生かす。



アルコール工場跡地購入と計画

アルコール工場は、昭和13年に当時の大蔵省によって設立された大津町のシンボリックな工場でした。現在は日本アルコール産業㈱となり、国内の数箇所の工場跡地を売却や賃貸地としています。

●購入予算内訳

土地・12億6,400万円(4筆 24,579㎡)
建物・6,700万円(710㎡)
その他消費税など・585万円

合計 13億3,685万円

●財源の内訳

まちづくり交付金・3億4,330万円(国補助金)
公共施設整備基金・4億3,055万円(貯金)
起債・5億6,300万円(借り入れ)

●整備計画予定

建物は子育て支援・検診センター
敷地は子育て健康広場(公園)